

令和5年1月吉日

お客様各位

有限会社 江原養豚

代表取締役社長 江原 正治



## 価格改定のお願い

いつも「えばらハーブ豚未来」をご利用頂きありがとうございます。

当農場の「抗生物質合成抗菌剤更に駆虫剤不使用」の肉豚生産も23年が経過しました。EUより6年早く始めた国内では最初の取り組みです。飼料メーカーの飼料設計者、現場を熟知した管理獣医師と試行錯誤しながら同じ目標に向かって進んできました。大変な難題の山ばかりでしたが、生産現場は彼らの知恵と強力なサポートで一つずつ乗り越えて来ました。更に大変だったのはその販売です。「薬を使わないで育てた豚肉」の意味が理解され難い20年前、安全な食材に消費者意識の多くが傾く今日とは少し違う時代でした。そんな時、「えばらハーブ豚未来」に強い関心を示して頂いたのが群馬ミートさんでした。国内唯一の抗生物質完全不使用の豚肉を、消費者評価が不透明の時点で全量取り扱いの決断して頂きました。それから今日まで、時代や消費者意識、食べ物による身体の変化など、群馬ミートさんのお蔭で必要とされる消費者に届けることが出来るようになりました。そんな時間経過の中、養豚農家として長く厳しい時間ばかりでしたが、お蔭様で今日まで来ることが出来ました。途中、NON-GMO 主原料非遺伝子組換え穀物使用（新年度より分別生産流通管理）更に生産トレースの開示で現在では国内唯一の「生産情報公表豚肉 JAS 認証」農場となっています。その生業信条の一つが「儲け」より「再生産可能な価格」ということです。「生産者として出来る事を継続しながら、食品の一つとして選んで頂ける豚肉作り」という事でした。

しかし皆様ご存じのような前代未聞の世界的変化に直面。一農家や事業者では対応できない事態となっています。

「あなたの健康に生きたいという願いを叶える豚肉」

「未来を担う子供達への贈り物」の「えばらハーブ豚未来」

大変難しいご負担増をお願いになりますが、「再生産可能な価格」としてお願いすることになります。宜しくのご検討、ご対応をお願い致します。